

高齢者施設や高齢者の集まる場で結核が発生しています

| | |
|-----------|--|
| ◆アピールポイント | <p>高齢者の皆さんは、過去に結核に感染している方が多く、加齢により再発することがあります。感染の発見が遅れると、治療開始が遅くなるだけでなく、周囲の方への感染リスクが高まります。</p> <p>ご自身だけでなく、家族や友人など、大切な方への感染を防ぐため胸部レントゲン検査（結核・肺がん検診）を年に1回受けましょう。</p> |
| ◆内容など | <p>厚生労働省では、毎年9月24日～30日の間を「結核・呼吸器感染症予防週間」と定め、結核と呼吸器感染症に関する正しい知識の普及啓発を図ることとしています。</p> <p>●静岡市の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の結核患者の約70%が70歳以上の高齢者です。令和6年4月から7月18日までに市内8か所の高齢者施設で結核患者が8名発生しましたが、どなたも定期的な胸部レントゲン検査（結核・肺がん検診）を受診していませんでした。このため、同じ施設利用者等で接触者が発生し、結核感染の有無を確認するための健診を209名が行うこととなりました。 <p>●結核とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結核は、結核菌を吸い込むことで起こる感染症で、免疫力が低下すると菌が肺の中で増殖し発病します。また、結核を発症しなくても、菌は肺の中で生き続け、何十年後に何らかの理由で、再び活動を始めることがあります。 ・高齢になるほど咳や痰などの自覚症状が乏しくなり、結核だとすぐにわからないことがあります。結核に感染すると咳、痰、発熱などの症状が長く続くのが特徴で、薬を飲まないで治らない病気のため、早期発見・早期治療が重要です。 <p>●市民の皆さんへのお願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢の方は、<u>症状がなくても胸部レントゲン検査（結核・肺がん検診）を年1回受診しましょう。</u>また、精密検査が必要と判断された場合は必ず受診しましょう。（検査のご案内は別紙のとおり） <p>集団生活を営む施設等では、免疫力が低下している方もいるため、結核の発生に特別な注意を払うことが大切です。静岡市では、高齢者施設に、入所者の健康管理及び施設内感染防止の観点から、年1回、定期的な健康診断の受診を呼びかけています。</p> |

 別紙資料 有 ・ 無

 イベントカレンダーへの掲載 有 ・ 無
【結核についての問合せ】

静岡市保健所 感染症対策課（葵区城東町）
 担当 前島、白鳥
 電話 054-249-3172

【胸部レントゲン検査についての問合せ】

健康づくり推進課（静岡庁舎新館12階）
 担当 片井、谷澤
 電話 054-221-1579

胸部レントゲン検査（結核・肺がん検診）の受診方法のご案内

<対象者>：40歳以上の静岡市民の方で、日ごろ検診を受ける機会のない方

<検査費用>：無料

<受診場所>：検診車（令和6年度結核・肺がん検診会場）

(<https://www.city.shizuoka.lg.jp/s7463/s003385.html>)

市内総合病院（一部の病院を除く）、健診センター等

(https://www.city.shizuoka.lg.jp/documents/3164/r6_maruwakari_p7-14.pdf)

<受診方法>

・検診車で受診する場合

40歳～64歳の方：受診票を送付しないため、身分証明書を持参し、直接健診会場へお越しください。

65歳以上の方：毎年、対象の方には随時受診票を発送します（今年度の対象の方には発送済み）。受診票（ない場合は身分証明書）を持参し、直接会場へお越しください。いずれも予約は不要です。

・医療機関で受診する場合

ご自身で直接医療機関に連絡し、必ず「市の検診で受診したい。」と伝えてください。

問い合わせ 健康づくり推進課（054-221-1579）